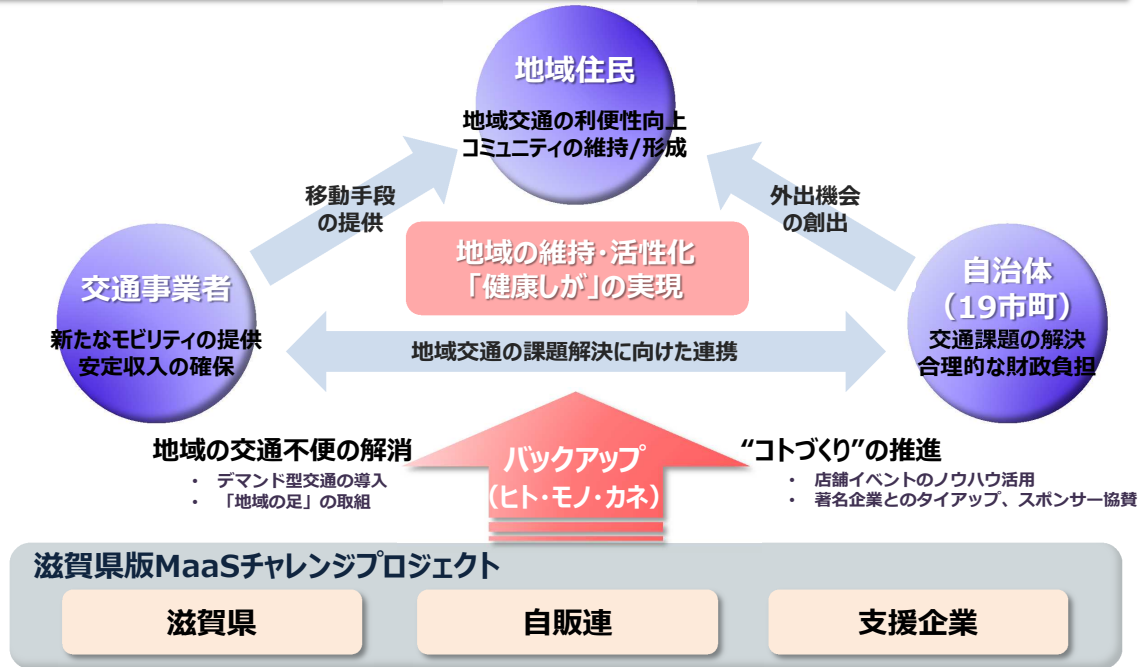


1 県と自販連の連携による地域の移動支援

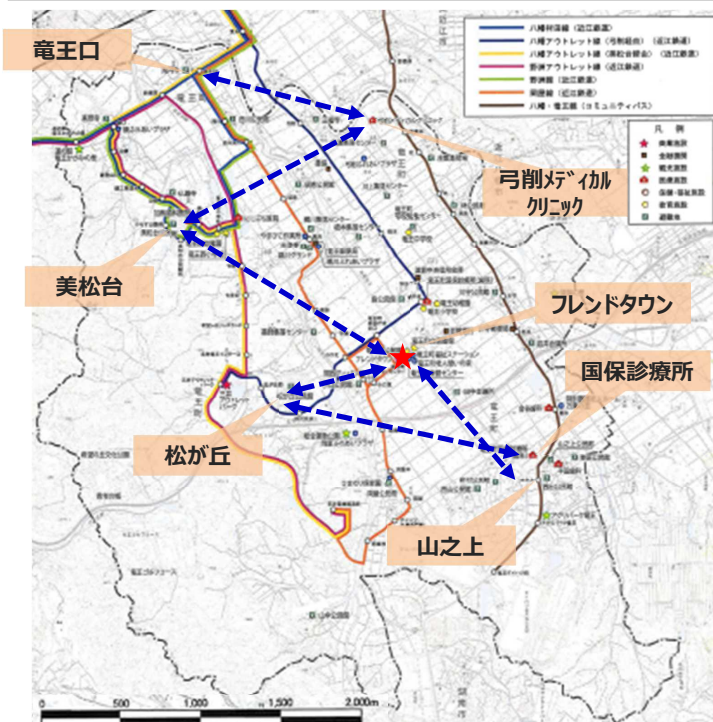
目指す姿 “三方よし”のまちづくり

- コンパクトシティの実現に向けた**まちづくり**
- 自治体と自販連が連携する**日本初の試み**
- 自販連および支援企業による**全面的なバックアップ体制**



2 コンパクトシティ化の実現に向けた竜王町の課題

- 町内移動に適した公共交通の不足 ※ \longleftrightarrow の移動が困難
 - 町外中心で形成された生活圏
- ⇒ 中心核に町民を流動させる「**移動手段の確保**」と「**きっかけづくり**」が重要



- ・横移動できる公共交通がない
- ・町民の多くが近江八幡駅周辺のスーパーや病院を利用
- ・タクシーは特別な乗り物という位置づけ
- ・タクシーで町内移動することはほぼない
- ・買物や通院で町内から近江八幡駅付近に送り届けることがほとんど
- ・高齢者の多くが、近所の目を気にして自宅の手前でタクシーを降車

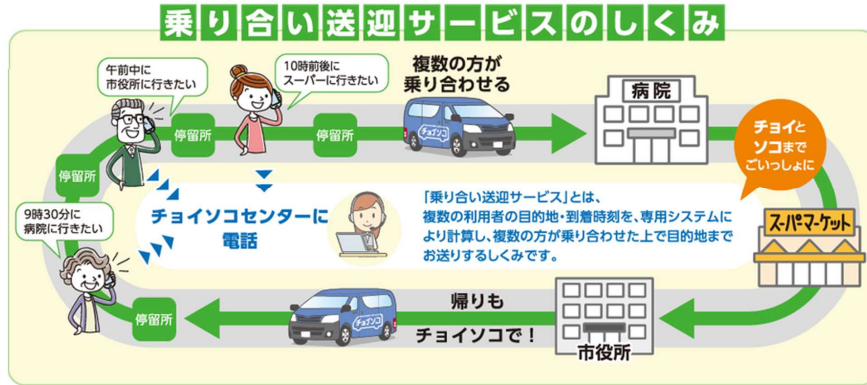


デマンド交通の導入検討

3 新たな交通サービスの概要

■ 「チョイとソコまで」のお出かけに便利な乗り合い送迎サービス

〔イメージ〕



(会員制、事前予約制で、予め指定した停留所で乗降)

■ エリアスポンサー協賛型のビジネスモデル



地域のタクシー会社と提携し運行することで
既存公共交通とwin-winの関係を築く



4 取組の全体像

課題	取組内容	自販連によるサポート
交通不便	デマンド型交通サービス 「チョイソコ」の導入 【移動手段の提供】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 導入支援 ■ 情宣活動 ■ スポンサー開拓 ■ 車両提供 ■ 協賛
町外中心の生活圏	中心核での定期的な イベント開催の支援 【外出機会の創出】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 店舗イベントのノウハウ活用 ■ 著名企業とのタイアップ

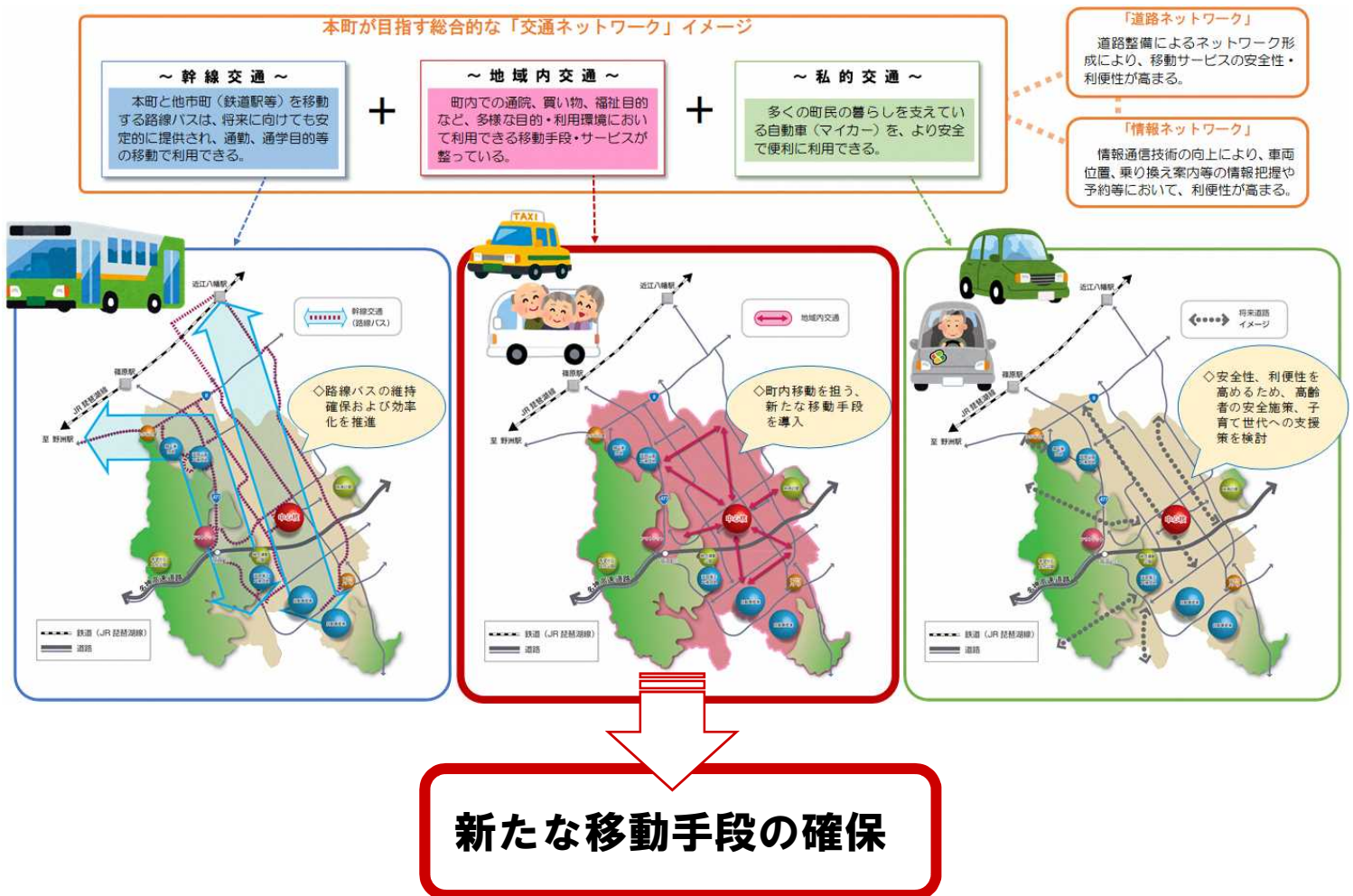
日本初！

全メーカーの自動車販売会社のバックアップのもと、
「官民一体」となったまちづくりを支援

1 竜王町の現状

- 高齢化が進行している
- 滋賀県内で唯一、鉄道駅がない
- 小規模な集落が点在している
- 自動車保有率が高く、移動をマイカーに頼っている

2 竜王町が目指す交通ネットワークのイメージ図





生活

る地

自治
● 地
● 担
● 女
● 多
● 他

ネット

備
クの
整備

報
災や生
くージ
行政と自

ク

な移

